令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		母子保健事業				コード	01020600-0103
中事業名		母子健康推進事業				計画区分	①
担当部等		健康福祉部		担当課等		健康課	
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計
	基本施策	02	子育て・子育ち支援		款	04	衛生費
	主要施策	06	母子の健康づくりの支援		項	01	保健衛生費
					目	04	母子衛生費
					大	01	母子保健事業
					中	03	母子健康推進事業
根拠法令・条例等		母子保健法、母子保健医療対対策総合支援事業、子ども・子育て支援法					
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	妊娠期から子育て期までさまざまな課題に応じた支援の実施
対象	妊産婦、乳幼児
意図（目的）	疾病等の早期発見・対応や安心して出産・子育てができることにより乳幼児の健全な発育・発達を目指す。
手段	受診票の発行、健診の実施、健康教育・相談・家庭訪問の実施。

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			810	78	4,546	3,378	21,305	61,440	0
財源内訳	特定財源	国庫支出金	405	0	0	0	17,338	59,193	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		405	78	4,546	3,378	3,967	2,247	0
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.16 人		0.96 人	0.00 人
		人件費		0.00		1,044.00		6,264.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				78		4,422		67,704	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	妊娠前の支援として、妊娠を望む夫婦が不妊の検査を受け、必要な人が早期に治療が開始できるよう、不妊治療前の検査を夫婦で受けるための費用の一部を助成する事業を新たに実施する。また、産後間もない時期の支援体制整備をするための準備として、産後ケア実施施設の整備のための費用を補助する事業を新たに実施する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	妊娠・出産後、間もない子育て家庭が相談や休息の取れる場を提供できる体制を整える。

令和 5年度に取り組んだこと	妊娠を望んでいるが不妊の不安がある夫婦（事実婚含む）が医療機関で受けた検査の費用を助成した。産後ケア事業を実施する施設整備のための費用を補助した。子育てアプリ「Ｎぴよ」を構築・導入し、広報等による周知、妊婦から２歳児に対し個別通知を行った。

成果	不妊治療前検査について、１４組に費用助成した。産後ケア施設については施設整備をすることで、産後ケア事業の受け入れ体制を整え、利用希望者全てが利用することができた。また、新たに通所型の提供体制を整えることができた。子育てアプリは令和６年３月から運用開始し、インストール数７３３件、内４７１件の子ども登録があった。
課題	妊娠、出産、子育て期において、情報収集が手軽にでき、不安の軽減につながるよう子育てアプリの活用方法の検討が必要。また、適切な時期に受診や相談ができ、疾病の早期発見・早期治療や、育児支援を実施する体制をさらに検討する必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	不妊治療前の検査費用の助成により経済負担の軽減ができ、不妊治療をした結果２件の妊娠につながった。また、産後ケア事業の充実・拡大、子育てアプリの普及によりサービスの利用促進や情報収集の利便性向上等を図ることができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容	５歳児健診実施に向けた検討を行う。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	５歳児健診を実施し、就学前に発達および基本的生活習慣への気づきができる体制を整える。				

【アウトプット指標】

指標名	不妊治療前ペア検査費用助成事業申請者数				単位	人
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					60.00	14.00	20.00

【アウトカム指標】

指標名	この地域で子育てをしたいと思う親の割合				単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
			98.00	96.60	98.00	96.30	98.00
式	乳幼児健診（３～４か月児健診、１歳半児健診、３歳児健診）におけるアンケート（この地域で子育てをしたいと思う親の割合）のうち、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合					
指標の狙い	安心して妊娠・出産を迎え、安心して子育てができるために必要な支援を提供するため。					

令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名	健康づくり事業				コード	01050200-0201	
中事業名	健康づくり事業				計画区分	①	
担当部等	健康福祉部		担当課等	健康課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	05	健康づくり		款	04	衛生費	
主要施策	02	家庭や地域における健康づくり活動の推進		項	01	保健衛生費	
				目	03	予防費	
				大	02	健康づくり事業	
				中	01	健康づくり事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等	第２次いきいき健康プランにっしん２１						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	「第２次いきいき健康プランにっしん２１」に基づき、各種健康増進施策を実施する。また、「いきいき健康プランにっしん２１推進委員会」に諮りつつ、計画の進捗管理を行う。さらに、食生活改善推進員や運動普及推進員等に対して、より良い活動ができるための支援を実施する。
対象	市民
意図（目的）	市民の健康寿命の延伸及びＱＯＬの向上を図る。
手段	各種健康増進施策の実施、「いきいき健康プランにっしん２１推進委員会」の開催、計画の進捗管理、食生活改善推進員や運動普及推進員の養成及び活動支援

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			2,857	2,122	2,849	2,471	2,812	2,379	6,162
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	35	14	0	0	35
	一般財源		2,857	2,122	2,814	2,457	2,812	2,379	6,127
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		1.80 人		1.74 人	0.00 人
		人件費		0.00		11,745.00		11,354.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				2,122		14,216		13,733	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	コロナ禍後の健康づくり推進のため、ヘルピーストレッチの周知啓発や、にっしん体操指導者及び運動普及推進員養成講座の実施、地域での栄養・食生活啓発促進のための食生活改善推進員に研修会を実施するなどの活動支援を行う。また、にっしん健康マイレージのさらなる普及のための企業連携も引き続き行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	にっしん体操スポット支援や健康マイレージなどによる健康意識の向上に向けた取組みと、食生活改善推進員、運動普及推進員の養成や活動支援による、栄養・食生活、運動の両面からの健康づくり推進を行う。また、第２次いきいき健康プランにっしん２１健康計画の評価結果を基に、現状に即した第３次健康計画策定を行う。

令和 5年度に取り組んだこと	市民が楽しみながら運動等に取り組むため、にっしん健康マイレージの普及を行った。また、運動普及推進員養成講座を開催し、地域での健康づくりの人材育成に努めるとともに幅広い世代へのにっしん体操出前講座等を行った。

成果	運動普及推進員養成講座の開催により地域での健康づくり推進に向けた活動体制の強化ができた。また、健康マイレージ達成者数も増加し、特にアプリを利用した申請者数が著しく増加しており、広く健康づくり事業を周知することができた。
課題	にっしん健康マイレージ達成者数は増加を続けており、健康を意識した運動習慣を生活に取り入れるよう努めている様子が伺えるが、市民意識調査において「健康である」と回答した人の割合が減少していることを受け、引き続き健康に対する意識を高めていけるよう健康づくり事業を進めていく。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B　現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	運動普及推進員を養成し活動を支援することで、地域活動の場での健康づくりの活性化を図ることができた。また、健康マイレージに参加する市民も増加し、健康への関心や運動習慣を維持する傾向が見られることから事業を継続していく必要があるため。		

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		市民の健康意識が高まるよう、引き続き健康マイレージの周知を行う。また、にっしん体操やヘルピーストレッチの周知啓発等による体を動かす習慣づくりや食生活改善推進員養成講座の実施により食生活・栄養に関する人材育成と啓発活動を継続する。併せて第３次いきいき健康プラン計画に沿った健康づくり事業の推進を行う。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		にっしん体操やヘルピーストレッチを継続して周知・啓発に努める。また運動員普及推進員・食生活改善推進員の育成による地域での健康づくりの推進を行う。また、第3次いきいき健康プラン計画に沿った健康づくり事業の推進を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	会議・イベント開催数					単位	回
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	5.00	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00

【アウトカム指標】

指標名	市の平均寿命（男性）					単位	歳
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	82.10	82.10	82.10	83.40	83.40	83.40	83.40
式	愛知県市町村別生命表から抜粋 （人口、死亡数、乳児死亡数、出生数を基礎資料としている。） 平均寿命＝０歳の平均余命						
指標の狙い	市民の健康寿命延伸を目指しているため、その基礎となる平均寿命を指標とし、平均寿命を伸ばすことを目標とする。数値は、令和２年（令和５年発表）※性別ごとにデータが示されるため女性より短い男性の平均寿命を採用する。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	にっしん体操スポット数				単位	箇所
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	27.00	29.00	20.00	31.00	31.00	32.00	33.00

【アウトプット指標３】

指標名	にっしん健康マイレージの達成者数				単位	人
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,000.00	885.00	1,000.00	1,238.00	1,238.00	1,387.00	1,387.00

【アウトカム指標２】

指標名	健康であると回答した人の割合（市民意識調査）				単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	85.00	82.70	85.00	81.70	85.00	81.70	85.00
式	日進市市民意識調査（隔年）から抜粋 設問「あなたは、現在のご自身の健康状態をどのように思われますか」						
指標の狙い	計画では市民が健康に生活できることを目標としており、市民が健康を実感していることは、健康づくり事業の成果の表れとなるため、本項目を指標とする。						